

平成 24. 6. 14

滞在型保養プラン「現代湯治」に取り組んでいる三朝町で、健康などの要素を含む観光としてノルディックウオークを活用したスポーツツーリズムの計画が進んでいる。三朝温泉旅館組合青年部（御船利洋部長）と同温泉観光協会青年部（山内有二郎長）が観光客の誘致事業として発案。すでに両青年部員の一部が公認指導員の認定を受けるなどして準備を始めており、来年春からの実施を目指している。

昼は汗流し、夜温泉

両青年部は、現代湯治で「康」「自然」「レジャー」長期滞在する観光客らの昼をキーワードにしたスポーツ間対策を模索。町内にあるツツリリズムを観光メニュー温泉や自然環境、グルメな一化するため、効果的な有と豊富な資源を活用し、保健素運動ができるウオーキ養だけでなく、子どもからシニアまでを対象に「健」ノルディックウオークに着



観光客らの昼間対策として計画されているノルディックウオーク。三朝温泉などの資源を生かしたコース設定が考えられている

スポーツツーリズム公認指導員を準備

目した。

事業化に向けた第一歩として、両青年部員が全日本ノルディック・ウオーク連盟の指導者養成講座を受講。7人が認定試験に合格し、公認指導員の資格を得た。具体的な運営方法などはこれから検討するが、コースとして温泉街のラドンスポットや三徳山、小鹿溪などの名所・旧跡、田んぼのあぜ道巡りなど、町内の魅力を感じてもらえる設定を考えている。

御船部長は「昼間の魅力アップなど温泉の付加価値を高める取り組み。ノルディックウオークは適度な汗がかかけ、リフレッシュできる。単一的なイベントではなく、四季を通して実施したい」と話している。